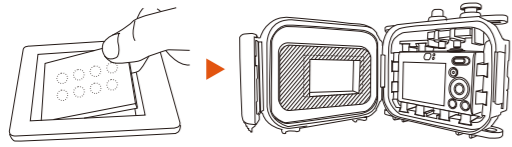


4 背面パッドをつける

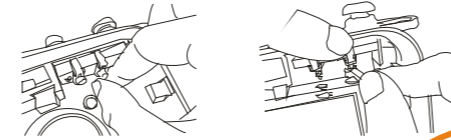


カメラの液晶モニターサイズに合う大きさのブロックを背面パッドから外す。

背面パッドがボディ背面部に固定するよう、カメラケースをゆっくり閉じる。カメラケースを再び開けて背面パッドが完全に接着するよう押しつける。

3 作動シャフトをつける

- カメラをボディ前部に入れる。
- カメラのシャッターボタンの位置まで、作動クランプ部を親指で移動する。
- ミニスパナで、作動シャフトをシャッターボタンの位置に合うよう前後に移動して仮止めする。
- シャッター作動シャフトが正しい位置にあるか確認する。位置がずれていたら再調節する。
- ミニスパナを半回転、または一回転して作動シャフトを固定する。
- 電源On/Off作動シャフトを、シャッター作動シャフトと同じ手順で調節する。

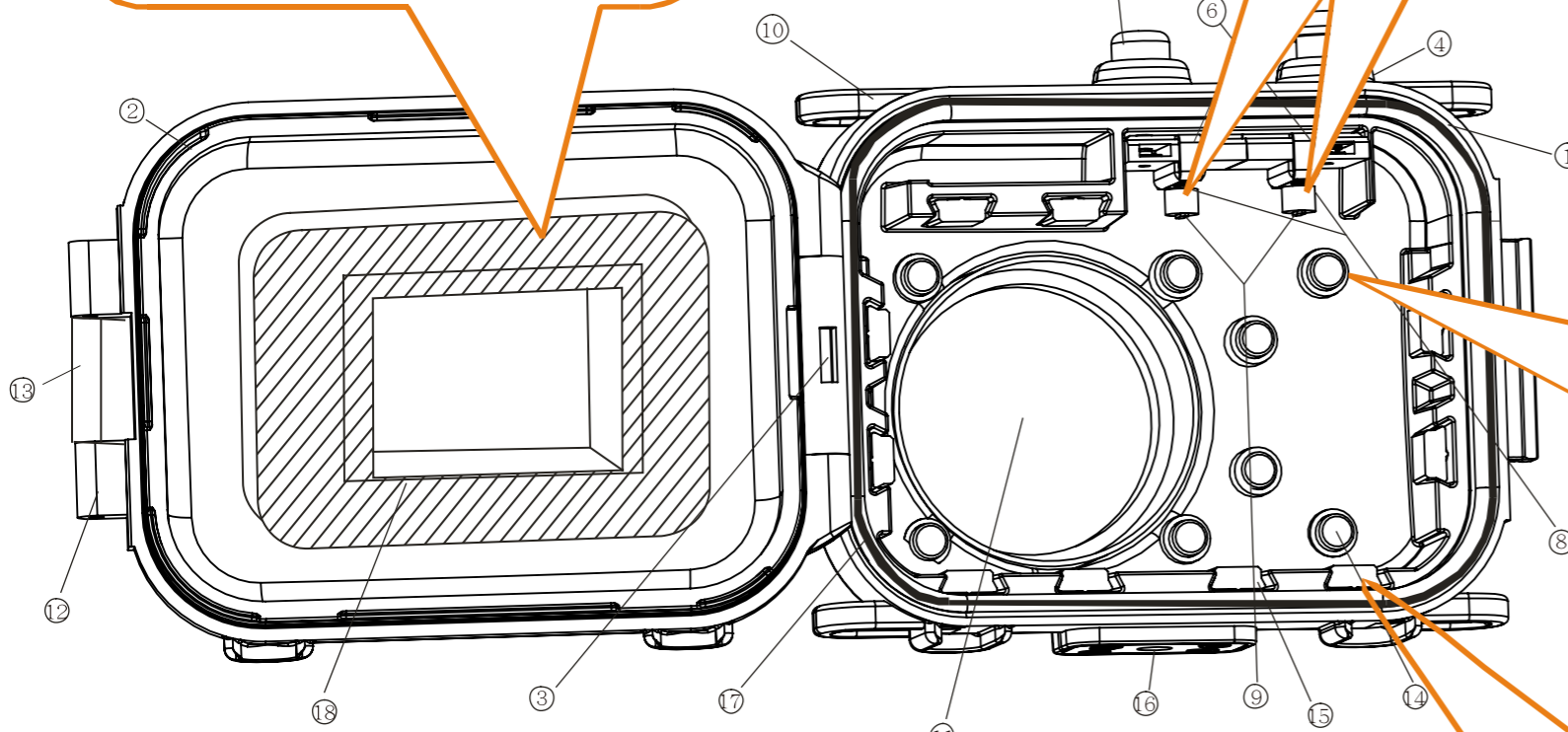


2 円筒形クッションをボディ前部につける

- 円筒形クッションを、ボディ前部にあるクッションホルダーに入れる。クッションが止る位置まで押し込む。

1 固定用角形クッションをつける

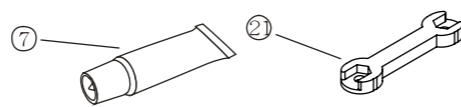
- 固定用角形クッションを、カメラケースのボディ前部にある溝に差し込む。
- カメラをボディ前部に入れて、4方向の固定用角形クッションがカメラの位置を正しく保持しているかを確認する。必要であれば長さの違う固定用角形クッションと交換する。



ボディ背面部

ボディ前部

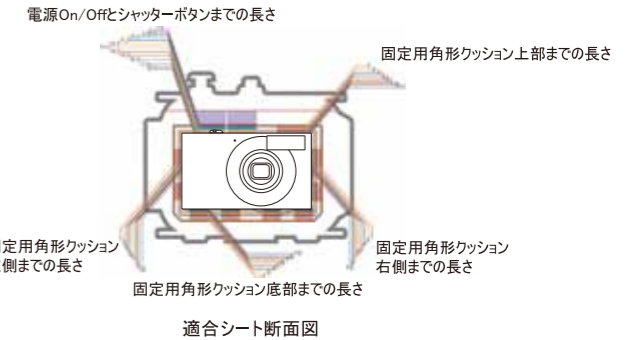
- | | | | | |
|--------------|---------------|-----------------|----------------|--------------|
| 1. ボディ前部 | 6. 作動部クランプ | 11. レンズ窓 | 15. 固定用角形クッション | 20. ハンドストラップ |
| 2. ボディ背面部 | 7. 潤滑油 | 12. ロック | 16. 三脚用ねじ穴 | 21. ミニスパナ |
| 3. 蝶番 | 8. 作動シャフト | 13. ロックボタン | 17. O-リング | |
| 4. シャッターボタン | 9. 作動シャフト用パッド | 14. 固定用円筒形クッション | 18. 背面パッド | |
| 5. 電源スイッチボタン | 10. ストラップホール | 19. ネックストラップ | | |



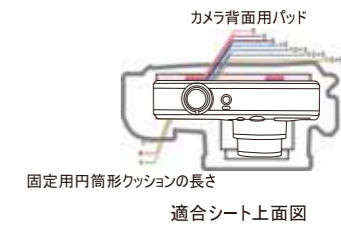
設定の準備

同梱されている適合シートから適合する長さの、固定用角形クッション ⑮、固定用円筒形クッション ⑭、作動シャフト⑧、背面パッド⑱を選ぶ。

* 設定手順の詳細はユーザーマニュアルをご覧ください。



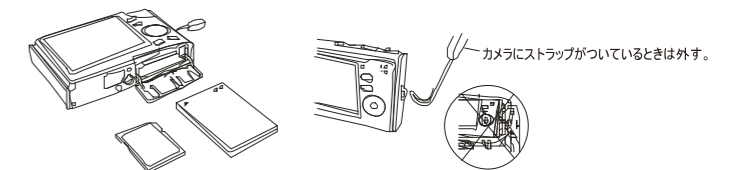
適合シート(断面図)から固定用角形クッション ⑮と、作動シャフト⑧の長さを選ぶ。



適合シート(上面図)から固定用円筒形クッション ⑭の長さ、背面パッド ⑱の厚みを選ぶ。

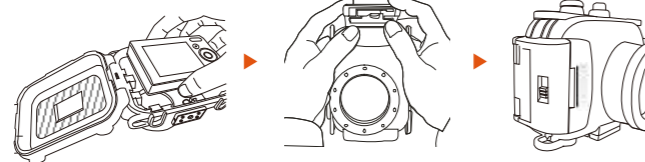
カメラの準備

- 電源を"On"にする。
- 必要であれば"パワーセーブ"モードに設定する。
- フラッシュは"Off"に設定する。
- "水中モード"または"自動モード"に設定する。
- シャッター速度を早めに設定する。例:ISO400以上
- 必要であれば"自動レビュー"に設定する。
- ズームを最大広角度に設定する。
- 水漏れの原因となる、ストラップがカメラについているときは外す。



5 使用する前のテスト

カメラを取りつける

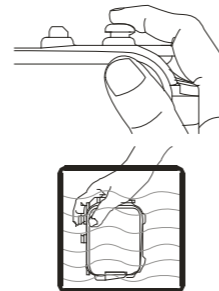


カメラをSeashellに入れる。

Seashellのケースを閉じてロックする。

ロックを引っ張り、確実にロックされていることを確認する。

カメラの操作をテストする



- カメラを入れずにカメラケースを閉じて、水深20cm以上の水中に5分間以上つけ、水が入ってこないことを確認する。次にカメラを入れて水が入ってこないことを再確認する。

- カメラの操作を再確認する。

- 必要であれば、この手順を繰り返す。

このやさしい設定ガイドのSeashell SS-1のイラストは説明用ですが、操作手順はSeashell SS-2も同じです。

カメラ取り付け手順の詳細は、ユーザーマニュアルをご覧ください。
*この製品にカメラをつけて操作、調節する前にユーザーマニュアルのすべての項目をお読みください。